

## 助産診断技術学(ローリスク)

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

### ・学修方針(講義概要等)

周産期にある対象がより健康で安全かつ主体的に各期を過ごすことができるよう、妊娠期および産褥期を中心に正常経過にある対象の健康状態の診断と助産ケアの基本について体験的に学修する。具体的には、妊娠期の助産過程(事例展開)と助産ケア、産褥期の助産過程(事例展開)と助産ケアについて体験的に学ぶ。

### ・教育成果(アウトカム)

妊娠経過および産褥期に伴う健康状態の変化とこの時期におけるアセスメントの基本を学ぶことにより、母児の健康状態の助産診断方法と健康の保持・増進に向けて必要な助産ケアを考えることができる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

### ・到達目標(SBO)

1. 妊娠初期における母子の健康状態のアセスメント方法について説明できる。
2. 妊娠中期における母子の健康状態のアセスメント方法について説明できる。
3. 妊娠末期における母子の健康状態のアセスメント方法について説明できる。
4. 産褥期経過に伴う生理的変化のアセスメント方法について説明できる。
5. 周産期にある対象の健康状態に応じた助産ケア方法について述べるができる。

### ・授業日程

#### 【講義】

会場：マルチ3-A実習室、マルチ3-B実習室、東2E講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/30 月 3限	<b>【授業内容】</b> 妊娠経過に対応したアセスメントと助産ケア(ディスカッション) ・妊娠経過に応じたアセスメントと助産ケアについて、ディスカッションを通じて理解することができる。 ・妊娠期に行われる主な検査と結果に対するアセスメントと助産ケアについて説明することができる。 <b>【関連するSBO】</b> 1、2、3、5 <b>【事前学修:60分】</b> 母性看護方法論(2年後期)の講義内容のうち、正常な妊娠経過ならびにルーチンで行われる検査の正常を中心に復習する。 <b>【事後学修:90分】</b> 妊娠経過と検査結果によるアセスメントの要点と助産ケアをまとめる。	成育看護学講座 西里 真澄 講師
9/30 月 4限	<b>【授業内容】</b> 日常生活における健康問題および出産準備に向けたアセスメントと助産ケア ・妊娠期の日常生活において生ずる健康問題をアセスメントし、それに対する助産ケアについて説明することができる。 ・妊娠期における親準備ならびに出産準備をアセスメントし、これらを促進する助産ケアについて説明することができる。 <b>【関連するSBO】</b> 1、2、3、5 <b>【事前学修:60分】</b> 母性看護方法論(2年後期)の健康維持のためのセルフマネジメントの内容を復習する。 <b>【事後学修:90分】</b> 日常清潔における健康問題に対するアセスメントの要点と助産ケアについてまとめる。	成育看護学講座 西里 真澄 講師
9/30 月 5限	<b>【授業内容】</b> 妊娠期の助産過程①(グループワーク) ・妊娠期の事例に基づき助産過程を展開することができる。 <b>【関連するSBO】</b> 1、2、3、5 <b>【事前学修:60分】</b> 第1回授業の事後学修内容を説明できるようにする。 <b>【事後学修:90分】</b> 妊娠期の時期に応じた妊婦健診の展開について要点をまとめる。	成育看護学講座 西里 真澄 講師

10/1 火 1限	<p>【授業内容】 妊娠期の助産過程②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期において想定される場面の実践を通じ、必要な助産ケアを具体化することができる。</li> </ul> <p>【関連するSB0】1、2、3、5</p> <p>【事前学修:60分】第2回授業の事後学修内容を説明できるようにする。</p> <p>【事後学修:90分】妊娠期の時期に応じた妊婦健診の展開のうち、症状に応じて必要な助産ケアについて要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/1 火 2限	<p>【授業内容】 妊娠期における助産診断に基づく助産ケア（ディスカッション）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期における助産診断に基づく助産ケアを概観しながら、想定される場面の実践を通じ、助産師の役割について具体化することができる。</li> </ul> <p>【関連するSB0】1、2、3、5</p> <p>【事前学修:60分】既習の知識に基づき、妊娠期における助産師の役割が述べられるように準備する。</p> <p>【事後学修:90分】妊娠期における助産師の役割についてまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
2/3 月 3限	<p>【授業内容】 産褥期における助産診断に基づく助産ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産褥期における助産診断に基づく助産ケアを概観しながら、想定される場面の実践を通じ、助産師の役割について具体化することができる。</li> <li>・母乳育児支援の方法について演習を通して実践することができる。</li> </ul> <p>【関連するSB0】4、5</p> <p>【事前学修:60分】乳汁分泌機序、母乳育児の支援方法について要点をまとめる。</p> <p>【事後学修:630分】90分:産褥期における助産師の役割についてまとめる。540分:定期試験の対策をする。</p>	成育看護学講座 高橋 淳美 講師
2/3 月 4限	<p>【授業内容】 産褥期の助産過程①(ディスカッション)</p> <p>産褥期の事例に基づき助産過程を展開することができる。</p> <p>【関連するSB0】4、5</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち産褥期の正常経過と看護過程の展開を復習する。</li> <li>・教科書(助産学講座7)p242～302を学修する。</li> </ul> <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産褥期の事例に基づく助産過程の要点をまとめる。</li> <li>・事例に基づく助産ケアを立案する。</li> </ul>	成育看護学講座 高橋 淳美 講師
2/12 水 3限	<p>【授業内容】 産褥期の助産過程②(ディスカッション・ロールプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産褥期において想定される場面の実践を通じ、必要な助産ケアを具体化することができる。</li> </ul> <p>【関連するSB0】4、5</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち退行性変化を促進するケア・退院に向けての支援について復習する。</li> <li>・教科書(助産学講座7)p242～302を学修する。</li> </ul> <p>【事後学修:90分】ディスカッションやロールプレイでの気づきを抽出し立案した助産ケアを修正する。</p>	成育看護学講座 高橋 淳美 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ〔1〕妊娠期	我部山キヨ子他 編集	医学書院	2021
教	助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期	我部山キヨ子他 編集	医学書院	2021
教	母子健康手帳	岩手県健康福祉部	吉田印刷	2024
教	根拠と事故防止からみた母性看護技術	石村由利子 編	医学書院	2020

・成績評価方法

【総括的評価】

定期試験70%、演習への取り組み状況30%にて評価する。なお、演習への取り組み状況は、演習での主体的・積極的態度、事前準備として課した内容の遂行状態を含み、総合的に評価する。具体的な評価項目は講義開始時に提示する。

【形成的評価】

授業内容毎に小テストを実施し、理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

小テストや事後学修ノートから多数の学生が理解していない内容について、次の授業やWebclassでコメントを伝える等、学生にフィードバックし、内容の理解と知識の定着を図る。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師(別表2):助産診断・技術学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義・演習用スライド投影